

作成：平成 28 年 10 月 18 日  
最終改訂：令和元年 5 月 15 日

整理番号 10007

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） ガス分析用鉄鋼標準物質

販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社		
	住所	〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号 住友不動産芝ビル 4 号館		
	担当	SDS 担当者		
	電話番号	(03) 6891-5800	FAX 番号	(03) 6891-5801
製造者情報	会社	JFE テクノリサーチ株式会社 倉敷事業部		
	住所	〒712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通 1 丁目		

### 2. 危険有害性の要約

GHS 分類 分類基準に該当しない

### 3. 組成、成分情報

#### 物質の特定

単一製品・混合物の区別	:	混合物（鉄を主成分とした合金鋼）
化学名	:	鉄 Fe、ニッケル Ni、クロム Cr、マンガン Mn シリコン Si、モリブデン Mo、銅 Cu
化学式及び含有量	:	Ni, Cr, Mn, Si, Mo, Cu 各 0.10%以下 残り Fe (微量の炭素 C, リン P, 硫黄 S, 窒素 N を含む)
CAS 番号	:	Fe:7439-89-6, Ni:7440-02-0, Cr:7440-47-3, Mn:7439-96-5, Si:7440-21-3, Mo:7439-98-7 Cu:7440-50-8
官報公示又は整理番号	:	
化審法	:	対象外
安衛法	:	対象外
PRTR 法	:	対象外

P/N YY-001-112 YY-001-114-001 YY-001-115-001 YY-001-116 YY-001-117  
YY-001-118 YY-001-119 YY-001-114-002 YY-001-114-003 YY-001-115-002

#### 4. 応急措置

本製品は通常状態で固体であり、一般環境下では応急処置が必要な事態は発生しないが、粉塵やヒュームが発生した場合には下記に示す措置を行う。

- ・吸引した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・皮膚に付着した場合 : 水と石鹼で手を洗うこと。
- ・眼に入った場合 : 水で洗うこと。必要に応じて医師の手当てを受ける。
- ・飲み込んだ場合 : 直ちに大量の水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の手当てを受ける。

#### 5. 火災時の措置

本製品は不燃性であり、一般環境下では引火及び発火の危険性は無い。周辺火災時には、その燃焼物の消火に適した措置を行うこと。

消火剤に制約は無い。火災の状況に適した消火剤を使用する。

#### 6. 漏出時の措置

こぼれたものを掃き集めて空容器に回収する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 粉末にして使用してはならない。
- 保管 : 品質保持のため容器は密封し、乾燥した冷暗所に保管する。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 適切な換気対策を実施し、作業環境を確保すること。
- 保護具 : 粉塵やヒュームが発生する場合、適切な呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣、安全靴等を着用すること。

#### 9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态 : 固体
- 形状 : 約 1g 又は約 0.5g ピン形状
- 色 : 銀白色
- 匂い : 無臭

P/N YY-001-112 YY-001-114-001 YY-001-115-001 YY-001-116 YY-001-117  
YY-001-118 YY-001-119 YY-001-114-002 YY-001-114-003 YY-001-115-002

沸点（鉄）	:	>2000℃
融点	:	>1000℃
比重	:	7～9 g/cm <sup>3</sup>
溶解性	:	酸に可溶

## 10. 安定性及び反応性

反応性、安定性、危険有害反応可能性：一般環境下では安定している。水や酸などと接触すると有害なガスの発生や酸欠の原因となる可能性がある。

避けるべき条件：酸などとの接触を避ける。

危険有害性のある分解生成物：酸などにより溶けだした溶液、溶断などの加工時に発生するヒューム中に有害な化合物が含まれる可能性がある。

## 11. 有害性情報

知見なし。

## 12. 環境影響情報

現在のところ環境影響に関する有用な情報なし。

## 13. 廃棄上の注意

製品、容器、包装などは、国または地方の関連法規制を厳守し、環境に配慮した適正な方法で処分する。

## 14. 輸送上の注意

容器漏れのない事確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にし、輸送に関する法令に従う。

## 15. 適用法令

前記「3. 組成、成分情報」を参照のこと

P/N YY-001-112 YY-001-114-001 YY-001-115-001 YY-001-116 YY-001-117  
YY-001-118 YY-001-119 YY-001-114-002 YY-001-114-003 YY-001-115-002

## 16. その他の情報

### 参考文献

本製品製造元の SDS(2016.09.26) : JFE テクノリサーチ株式会社  
JIS Z7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、  
作業場内の表示および安全データシート  
化学便覧 : 丸善  
職場のあんぜんサイト : 厚生労働省  
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成 ; 平成 28 年 10 月 18 日

改訂 : 平成 29 年 3 月 31 日 P/N 更新

令和元年 5 月 15 日 P/N 更新

- \* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。

P/N YY-001-112 YY-001-114-001 YY-001-115-001 YY-001-116 YY-001-117  
YY-001-118 YY-001-119 YY-001-114-002 YY-001-114-003 YY-001-115-002